

第1回名寄市保健医療福祉推進協議会地域福祉部会次第及び議案書

日時 令和8年7月21日（火）15:30～16:10

場所 名寄市総合福祉センター 2階会議室

出席委員

笹原委員、尾谷委員、丸山委員、尾崎委員、成田委員、天野委員、
小池委員、田中委員、角尾委員、山崎美委員、結城委員、澁谷委員、
山崎直委員 13名

欠席委員

市川委員 1名

事務局

松田部長、田上課長、小川係長、山本主事 4名

オブザーバー（名寄社協）

鶴原係長、鈴木主事 2名

1 開会

田上社会福祉課長の進行により開会

2 委嘱状交付

加藤市長から委員委嘱状を交付

3 市長挨拶

加藤市長挨拶

4 部会長及び副部会長選出

委員の互選により選出

部会長：笹原博幸委員

副部会長：尾谷和久委員

5 議事【議長：部会長】

報告第1号 地域福祉計画の概要

報告第2号 第4期名寄市地域福祉計画の策定スケジュール
（事務局）

名寄市地域福祉計画は名寄市総合計画の中の福祉分野をとりまとめる計画の位置づけであり、名寄市における福祉分野の個別計画を束ねるものとなります。

そのため、地域福祉計画は名寄市における福祉の方向性を決めるものとなり、各種の政策や達成目標などは、分野ごとの個別計画において設定をし、推進していくこととなります。

また、社会福祉協議会が策定する名寄市地域福祉実践計画と連携をはかりながら、当市の福祉を推進していくこととなります。

協議第1号 第4期名寄市地域福祉計画・第6期名寄市地域福祉実践計画
策定のためのアンケート調査について

(事務局)

アンケートの素案について、前回アンケートとの比較をすることを考慮し、第3期計画時に実施したアンケートを基本に作成をしています。

追加項目として、問16. 困りごとを抱えている世帯についての設問を加えております。設問数も絞り、答えやすく回収率が上がるよう工夫をしています。

【質疑応答】

(A委員)

前回アンケート時はコロナ最盛期だった。コロナ禍が終息してからの地域活動について、以前に活動していたが、コロナ禍以降活動しなくなった場合や、終息してから活動を再開したということもある。頑張っけて再開した活動を把握するのは重要だと思うので、そういった趣旨の設問を追加できないでしょうか。

(事務局)

コロナ禍に限らず、以前参加していた活動を再開したなど、地域活動に参加したきっかけを問う設問の追加を検討します。

(B委員)

教職員の働き方改革による部活動の地域移行の考えなど、具体的に掘り下げる項目は望ましくないか。

(事務局)

詳細な内容については、福祉分野の個別計画でアンケート調査を実施しているので、本計画は個別計画を束ねる計画の位置づけとして進めていきたいと考えます。

(C委員)

調査対象は偏ることはないのか。また名寄市の人口からみて、1,500人が適当な人数設定なのか。

(事務局)

対象者抽出については、10代、20代、30代・・・と、年代ごとに無作為抽出をかけているので、偏ることはないです。

人数については、母数が1万を超える場合のサンプル数は400件が目安とされており、前回の調査では、2,000人にアンケートを配布し、4割にあたる約800人から回答がありました。今回は1,500人の4割にあたる600人の回答を見込んでおり、また、今回はQRコードでの回答も可能とし、回答がしやすい形での調査を実施したいと考えています。

(D 委員)

紙と QR コードの重複回答の可能性はある。また、アンケートを配布する際、依頼文も添付すると思うが、依頼文の内容も部会で確認する必要があると思います。(※会議後、重複回答を防ぐために、個別の回答 ID を発行することを提案)

(事務局)

アンケート依頼文の確認について、先程、天野委員からアンケートの追加の意見をいただいていたので、依頼文及び修正後のアンケート内容について、近日中に、委員のみなさんに持参しご確認いただく形をとりたいと思います。

6 その他
なし

7 閉会
笹原部会長により閉会